



アルド・ロペス

DataComおよびスペシャルティソリューション部門 担当シニアバイスプレジ デント兼社長、モレックス

## 経歴

2019年以降、アルド・ロペスはモレックスのDataComおよびスペシャルティソリューション担当シニアバイスプレジデント兼社長です。この役割では、彼は合わせてほぼ150億ドルの市場にサービスを提供する4つのグローバル事業部全体のDSSのオペレーションを指揮します。また、5G、AI、ファクトリーオートメーション、IoT、クラウドテクノロジーでメガトレンドをナビゲートする際の、DSSの戦略を設定します。彼のリーダーシップにより、DSSは継続成長を支持して強力な顧客関係をフルに活用する状況にあります。

数十年にわたる組織での経験豊富なリーダーであるアルドは、1988年にモレックス グアダラハラのセールスマネージャーとしてモレックスに入社し、着実に昇進を続け、1999年にモレックス メキシコのジェネラルディレクターになりました。2000年に、リージョナルセールスマネージャーとして米国に異動し、その後、2005年に、当時のコマーシャル製品部門の製品開発およびマーケティングディレクターとして、イリノイ州ライルのモレックスの法人チームに加わりました。

販売戦略と顧客エンゲージメントにおける能力を生かし、2009年に南アジア太平洋地区の販売担当バイスプレジデントに昇進し、その後、2014年にグローバルセールスおよびマーケティング部門の社長の役職を引き受けました。

また、グアダラハラ自治大学の機械工学と電気工学の理学士号を取得しています。現在はシカゴに住んでいます。